

感動！！

蓮池薫先生講演会「夢と絆—拉致が奪い去ったもの」



満員の盛況



拉致問題の早期解決を！！

2016年9月8日（木）さいたま市文化センターで蓮池薫氏による講演会が開かれました。「夢と絆—拉致が奪い去ったもの」という演題で90分お話をいただきました。

折しも前日より関東への台風の上陸が報じられており、長い時間をかけて準備してきた講演会がどうなるのか、関係者一同不安な夜を過ごしました。本当に幸運なことに、当日の朝は雨が降っておらず、無事、予定通り入場することができました。

今回ご参加をいただいた方は1800名を超える数で、今まで経験したことの無い大規模な催しとなりました。直接の担当は東浦和校5期でしたが、全員が役員となって運営に当たりました。さらに、東浦和校校友会各期の会長、副会長が腕に腕章を巻いて入場案内、会場整理に当たりました。また、大宮校8期の皆様が自主的に協力を申し出てくださり、会場整理、誘導にあたってくださいました。多くの方のご努力、ご協力をいただき、定刻に始まり、無事に終了することができました。お世話になりました皆様に心から感謝を申し上げる次第です。

蓮池薫氏のお話は、拉致された当事者しか語れない内容のお話で、24年という長い年月をよくぞ耐えられたと心を打たれるものでした。会場は水を打ったように静かで、皆さんが集中して聴いておられることがよく分かりました。先生ご自身、終わった後の感想で会場の真剣な雰囲気に乗せられて予定していなかったことまで話されたとおっしゃっていました。ひとりで言葉が出たそうです。

それにしても、このような非人道的なことが実際に起こり、いまだ帰国を果たせない方がいるという許しがたい現実を怒りを禁じ得ません。政府の、あらゆる手段を講じて早期解決を図るという言葉信じつつ、拉致問題が風化することのないよう、子や孫、若者たちに語り続けることが私たち高齢者の役割ではないかと思えます。

蓮池氏のお話が具体的でわかりやすく、かつ内容が涙を禁じ得ない厳しいものであったことを知り、これからも強い関心を持ち続ける必要を痛感いたしました。

今回このような講演会を開催した意義を改めて感じると共に、シニアユニバーシティの会員の皆様が多数参加されたことに大きな喜びを感じています。皆様ありがとうございました。（東5期会長 川田隆夫）